

<地域自治組織の形成支援>

令和5年度（2023年度）モデル事業

「地域の未来を考えよう！地域の大会議 in 東泉丘小学校区」

報告書

令和6年（2024年）3月29日

市民協働部 地域連携課

● 背景

豊中市市民公益活動推進委員会において、地域自治推進条例施行 10 年間の運用状況と今後の取組みについて審議いただき、以下の項目を更に進めることについて答申を受けた。

(1) 新しい人材を発掘するきっかけづくりについて

自治会の加入率の低下、生活様式の多様化、共働き世帯が増えるなど既存団体は、地域活動の担い手確保が難しい。今後も少子高齢化が進み、定年の延長など、担い手の確保がさらに難しくなることが予想される。それに対して、働き方の多様化や定年退職により生まれた余暇に地域活動を模索する人、プロボノを志す人が増える兆しもある。

そのため、既存の地縁団体とテーマ型団体（NPO や事業者など）との連携を支援するとともに、それらに属さなくても地域活動を始められるような仕掛けづくりを通して、今まで地域活動に参加していなかった人や学生など新たな地域の担い手となる人たちが連携できるような支援が必要と考える。

(2) 地域活動を通じたつながりの強化について

地域自治組織の設立支援に取り組んだ結果、9つの地域自治組織が設立され、身近なまちづくりについて横断的に話し合いする場が形成された。交付金の活用により、防災資器材が充実し、多くの地域住民が防災訓練に参加するなど、住民主体の地域活動が積極的に行われた地域が増加していることは評価できる。一方で、既存団体ごとの活動にそれぞれ歴史や実績があるため、団体の活動分野ごとに限定された活動状況になっている場合もあり、地域自治組織設立の端緒も見られない地域もある。

今後は新たに、地域自治組織未設立の地域の活動をその地域の実情を考慮して外部から支援することにより、地域活動を通じたつながりを強化するような取組みが必要と考える。

(3) 情報ネットワークの提供や収集について

地域自治組織の設立により、子育て世代や高校生等の新たなイベント参加者が増えたという声もあり、一定の効果はあったと考えるが、担い手の確保に苦慮している団体は多い。地域自治推進条例施行後、10年を経過しても地域自治組織の認知度は、市域全体で見ると高まってはおらず、制度の効果を十分に周知できていない。特に団体に属していない人に、地域自治組織の活動情報が伝わっていない状況にある。

新たな担い手を増やすほか、より多くの住民に地域活動の関心を持ってもらえるよう、デジタルなども活用しながら地域の課題を共有する情報発信の工夫が必要と考える。

新たな取組み

地域力診断

- 地域のHUB人材の発掘
 - 既存団体の活動状況(団体同士の繋がり、体力)
 - 地域が抱える課題を把握
- ⇒グルーピングにより次の展開を検討。

ワークショップで課題を共有

地域内の既存団体に属さない人やNPO、事業者など複数の団体が新たに取組む協働事業を支援

地域自治組織の設立も含めて、それぞれの地域の特色にあった手法で、地域住民が地域に関心を持つことにより、地域コミュニティを活性化し、地域課題の解決に向けた取組に多様な主体が積極的に参画する時代にあった地域づくり

1. 目的

多様な主体が出会い、活動する場の提供や機会を創出する一助として、地域課題の洗い出し・共有を行うとともに、その解決方策を検討するための「ワークショップ」を実施し、地域自治組織の設立も含めて、それぞれの地域の特色にあった手法で、時代にあった地域づくりを進める。

2. 進め方

- 地域自治組織未設立小学校区（32 校区※旧校区でカウント）を対象に、「ワークショップ」を順次開催することとし、今年度はモデル事業として 1 校区（東泉丘小学校区を選定）、次年度からは 2 校区ペースで実施する。

※東泉丘小学校区を選定した理由は、東泉丘公民分館の分館長が豊中市市民公益活動推進委員会の委員であり、市が進めようとしていることに高い関心を示していただけただけなこと、また、分館協議会の役員ということで他校区への波及効果が高いと判断したものの。

- 「ワークショップ」開催までの基本フロー

①出前講座や地域自治システムに関する問合せ対応等を実施した校区の中から、「ワークショップ」実施の候補校区を抽出し、地域活動の主軸となる公民分館や校区福祉委員会、校区自主防災組織と相談・調整を行い、実施校区を選定する。この際、調整窓口を絞って話を進めた方が調整はスムーズである。

②選定した校区の現状分析として「地域力診断」を実施する。必要に応じて、関係課から情報を収集する。

③「ワークショップ」でのコーディネータと企画内容や進め方、スケジュールについて調整を重ねる。

④会場の確保を行う。会場が小学校となる場合は、学校長に説明を行い、協力の理解を得る。

⑤地域及びコーディネータとの調整が整ったら、参加者を募る。公民分館等から参画団体への声掛け、チラシの地域ポスティング、掲示板へのポスター掲示などを想定。

※チラシには QR コードからの申込フォームを添付する。

- 「ワークショップ」は 3 回構成とする。

《ワークのステップ》

- ・（ステップ 1）この小学校区の良いところ、もっとこうなったら良いなと思うところ
- ・（ステップ 2）この小学校区でやってみたいこと
- ・（ステップ 3）やってみたいことを実現するための企画書づくり

《班編成》

- ・ 4～6 名で 1 班とし、4～5 班の編成とする。同じ所属で偏らないように誘導する。
- ・ 各班には、職員 1～2 名が入って進行サポートを行う。

《ワークの進め方》

- ・「コーディネータから説明」「ワーク」「全体共有」「まとめ」という流れ。

● ワークショップ（概要）

《第1回》

- ◆日時：令和6年1月25日（木）19時～20時55分
- ◆場所：東泉丘小学校・多目的室（わかたけホール）
- ◆参加者：18名（公民分館、校区福祉委員会、PTA関係等）
- ◆見学者：4名
 - 他校区住民1名
 - 市職員3名
- ◆運営側：12名（コーディネータ1名を含む。）

◆概要

- 開会挨拶
- データ説明「東泉丘小学校区の現状」
- ワークショップ（コーディネータ）※4グループ
 - ①自己紹介タイム
 - ①東泉丘小学校の「良いところ」「自慢できるところ」
 - ・個人ワーク
 - ・グループ内で共有
 - ・全体共有
 - ②東泉丘小学校の「困ったところ」「もっとこうなったらいいな」
 - ・個人ワーク
 - ・グループ内で共有
 - ・全体共有
 - ③本日のまとめ
 - ・参加者から感想
 - ・まとめ
- 発起人挨拶
- 事務連絡
 - ①次回以降の「地域の大会議」の開催案内
 - ②防災市民講座の開催案内
- 閉会



◆ワークショップでの主な意見

①東泉丘小学校の「良いところ」「自慢できるところ」

- ・ 緑が多い（自然が豊か）
- ・ 治安が良い
- ・ 公園が多い
- ・ 服部緑地が近い
- ・ 子ども（若い人）が多い
- ・ コテコテの大阪弁ではない
- ・ ボール遊びができる
- ・ 住民どうしのつながりが強い
- ・ 静かな環境
- ・ 交通の便が良い
- ・ 竹やぶ（竹林）が多い
- ・ おしゃれな人が多い
- ・ 教育環境が整っている
- ・ パン屋さんがたくさんある
- ・ 空気がきれい

②東泉丘小学校の「困ったところ」「もっとこうなったらいいな」

- ・ 阪急沿線に出るのに時間がかかる
- ・ 学校周りの歩道が狭い
- ・ 静かなので音を出すとクレームがくる
- ・ ランチカフェがほしい
- ・ 東泉丘の認知度が低い
- ・ 大人どうし、子どもどうしの交流の場が少ない。
- ・ 坂道が多い（高齢者にとってキツイ）
- ・ 虫が多い（←緑が多い）
- ・ 月極駐車場が少ない
- ・ バスが遅延することが多い
- ・ 飲食店が少ない
- ・ 銀行がない
- ・ 大きな病院がない
- ・ 世代間交流の場が少ない

◆参加者からの感想

- ・ 楽しくしゃべって終わりではなく、今日のことを今後につなげていかないといけない。
- ・ これまで他団体の方と触れ合う機会がなかったので、今日はとても良かった。
- ・ せっかくお話できたので、今後は困っていることや悩んでいることがあればいろいろな方のお知恵を拝借したいと思う。頼れる存在ができて良かった。
- ・ 掲示板に貼っているのを見て参加した。有意義な機会になった。
- ・ 楽しかった。今後のいいきっかけになった。
- ・ いろいろな世代や他団体の人それぞれが思っていることを出し合い、よりよい東泉丘を作っていきたい。

《第2回》

- ◆日時：令和6年2月15日（木）19時～20時50分
- ◆場所：東泉丘小学校・多目的室（わかたけホール）
- ◆参加者：20名（公民分館、校区福祉委員会、PTA、地域こども教室等）
- ◆見学者：4名
 - 介護保険事業者連絡会 1名
 - 市職員 3名
- ◆運営側：14名（コーディネータ1名を含む。）

◆概要

○開会挨拶

○事例発表「新千里北町地域自治協議会の取組み」（新千里北町地域自治協議会・子育てサークル部会長）

○ワークショップ（コーディネータ）※4グループ

①自己紹介タイム、ゲストの話を聞いた感想

- ・全体共有
- ・新千里北町地域自治協議会・子育てサークル部会長からコメント

②ワーク「東泉丘小学校区でやってみたいこと」

- ・個人ワーク
- ・グループ内で共有
- ・全体共有

③本日のまとめ

- ・参加者から感想
- ・まとめ

○発起人挨拶

今後もこういう集まって話をする会をやっていきたい。行政の力を借りないと出来ないことがあるが、地域では、それぞれの活動や団結力を活かし、行事等の集える場所・機会の創設ができる。市の予算で地域自治組織を立ち上げることで、私たちのニーズに合った施策が打てる。みんなで話し合って納得する形を実現していきたい。地域自治組織の形態を取ることが有効と考えている。私たちが出来ることをやっていきたい。

○事務連絡「次回の「地域の大会議」の開催案内」

○閉会



◆ワーク「東泉丘小学校区でやってみたいこと」での主な意見

(1班)

- ・餅つきなどイベントを通して、世代間交流を図りたい。
- ・立ち寄りやすい場所が欲しい。永寿園とよなかが協力いただけるとのことである。

(2班)

- ・花火大会、ハロウィン、ナイトシアター、プロレス、餅つき
- ・キッチンカーも呼んでみたい

(3班)

- ・それぞれの立場で話をした。それぞれの特色を活かした取組みの可能性を感じた。
- ・清掃活動での事業者の協力という話も出て、交流を深め、既にやっていることを組み合わせることでカバーしていける。

(4班)

- ・お祭り・盆踊りなどのイベントが昔はあったが、今は場所がない。小学校しかない。
- ・地理的に坂のてっぺんに校区がある。
- ・昔から住んでいる人が少ないが、地域に愛着を持って欲しい。

(その他)

- ・福祉もPTAも担い手不足に悩んでいる。
- ・小学校では、校長と他の教員では立場が違い、校長も居心地が悪そう。
- ・校長も先生たちに命令できないようで、先生たちを本業以外の地域行事に無理に従事させられず、学校として地域行事に協力できない様子である。
- ・公民分館には各マンションから1年交代で人員協力いただいているが、なかなか定着せず、連携が難しくなっている。
- ・公民分館とPTAは行事で協力し合っている。
- ・これまで受け身であったが、今後は積極的に地域行事に関わっていきたい。
- ・もし「こんなことを協力してほしい」等あれば、声かけしてもらったら、可能な範囲で協力したい。
- ・マンション間でのつながりは少なく、つながりができると良い。

◆参加者からの感想

(事業者A)

- ・コロナ禍前は地域交流していたが、今や当時を知る職員がいなくなり、一からつながりを持っていきたい。

(事業者B)

- ・これまで施設としてつながりを持てていなかった。地域の方々との交流の場をもちたい。

(事業者C)

- ・普段は高齢者の方々と話しているので、今日は若い世代の方々と話ができて良かった。
- ・小学校と施設を使ったイベントをしたい。

《第3回》

- ◆日 時：令和6年3月14日（木）19時～20時45分
- ◆場 所：東泉丘小学校・多目的室（わかたけホール）
- ◆参加者：17名（公民分館、校区福祉委員会、PTA、校区事業者等）
- ◆見学者：市職員2名
- ◆運営側：12名（コーディネータ1名を含む。）

◆概 要

○開会挨拶

○ワークショップ（コーディネータ）※4グループ

①自己紹介タイム

②第2回目の振り返りと企画書づくりの手順説明

- ・「やってみたいこと」の読み上げ
- ・ピンクの付箋に1人1つやってみたいことを書き、班内で意見交換して1つに決定。その後、タイトルや時期、予算などの項目を検討

③ワーク「企画書づくり」

*やってみたいことを班内で意見交換して1つに決定→タイトルや時期、予算などの項目を検討

*全体共有

*グループ内でふりかえり

④本日のまとめ

- ・参加者からの感想
- ・まとめ

○発起人挨拶

3回参加いただき本当にありがとうございます。前からずっとやりたかったことが出来た。この後どうするか。今後も話し合う場を開催したい。時期は4月半ばか5月とし、また皆さんに連絡する。次回からは地域住民が主体となるが、地域連携課も来てくれて補助金のことなど教えてもらえるとのことである。また、集まって話をしましょう。

○事務連絡

*今後の予定

*アンケート記入

○閉会

◆参加者からの感想

(1班)

- ・今日は特に面白かった。
- ・繋がりが広がって大きな輪になればと思う。
- ・良い取組みである。

(2班)

- ・日頃会えない人と出会えた。
- ・良い体験になった。
- ・小さなことから輪が広がっていくのは、とても大事なことだ。

(3班)

- ・最後どうなるのか心配だったが、とても良い企画ができた。
- ・出来ることからやりたい。
- ・前に進めていきたい。
- ・楽しい会議だった。

(4班)

- ・東泉丘フェスタの取組みがあるが、今後、PTAがこれまでのような活動ができなくなったから地域全体で担ってもらえると思えた。
- ・各班ともいろいろな意見が出ていることに驚いた。とても参考になり良かった。

(事業者)

- ・この度は、「地域の大会議」にお招きいただきありがとうございました。
- ・地域の方々との繋がりをどのように構築していくかという事が、当施設では以前からずっと課題だったので、この様な形で地域交流の場に参加させて頂いたことを光栄に思うとともに、この場限りの参加で終わらないように、今後も積極的に参加させて頂ければと思います。



《第1回》

地域の大会議in東泉丘小学校区（第一回）
 <ワークショップで出た主な意見>

交通・道路



- ・阪急沿線に行きにくい
- ・駐車場が少ない
- ・学校近くの歩道が狭い
- ・急な坂道が多い
- ・交通量が多い、渋滞しやすい
- ・見通しが悪いところがある
- ・里の道にもう少しライトが欲しい
- ・自転車が多く危ない

人・交流



- ・気軽に集まることができる場所がありません
- ・子どもどうし、大人どうし交流の場が少ない
- ・世代間の交流の場が少ない
- ・他団体と触れ合う機会がない
- ・いろんな住民の方と知り合えるといいな
- ・マンション内の交流を増やしたい
- ・マンション住民同士の交流
- ・高齢者が外に出られるように、閉じこもらないように
- ・お一人暮らしの高齢者の状況を知れたらいいな
- ・引きこもりや不登校で困っている人がいないかな
- ・外国の方との交流の場が欲しい

お店・医療



- ・飲食店が少ない
- ・ランチできるカフェが欲しい
- ・銀行が少ない
- ・大きな病院がない
- ・病院はいつも混んでいる
- ・大きなスーパーがない
- ・お茶するところがない

環境（自然）



- ・緑がいっぱい
→虫が多い
→竹藪が多くて暗い
マンション開発時に自然が減ってしまった
- ・静かな環境
→静かすぎて、音が出しにくい



地域活動・イベント



- ・花火大会がない
- ・地域の祭りが少ない
→増やしたい
- ・公民分館の活動をもっと活発にしたい

《第2回》

「東泉丘小学校区でやってみたいこと」

イベント型	
季節の行事	もちつき大会
	流しそうめん
	花火大会
	バーベキュー大会
	盆踊り
	秋祭り
	お花見
スポーツ	ソフトボール大会
	スケボー
	プロレス、スポーツ
文化芸術	カラオケ大会
	映画鑑賞会
体験	小動物と触れ合う
参加型	マルシェ
	フリマ
	おそうじイベント
	まちあるき

大切にしたいこと
高齢者と子どもがつながる
子どもとの交流
中高生が参加できる
施設利用者も参加できる
高齢者の地域貢献活動
高齢者の地域交流
多世代交流
世代間交流
各団体との連携
東泉丘にある資源・ハードの活用
災害発生時の助け合いの仕組みづくり

既存事業の充実
敬老の日の集いをもっと子ども達が参加できるようにしたい
ふれあいサロン
子育てサロン
子ども会の充実

常設・定期的	
居場所づくり	誰でも行ける交流の居場所
	自由に気ままに利用できる場所
	子ども食堂
相談窓口	介護の相談
	認知症相談

〈第3回〉

〈地域の大会議in東泉丘小学校区 成果品〉

企画書「東泉丘でやってみたいこと」

1班	
タイトル	交流の場
日程	通年(暖かい時期) 平日17:00~21:00
目的	地域の交流
内容	今後の企画に向けてのお話(最終は流しそうめん) 小学生以下は保護者同伴、アルコールOK(持参)
予算	投光器、お茶代、広報費、ピクニックテーブル
場所	東泉丘小学校の南門外

2班	
タイトル	ナイトシアター&スナックパーク!!!
日程	夏休み
目的	多世代交流、世代間交流
内容	アニメや自然・アニマル系短縮 2本立て(30分くらい×2本) スナック(駄菓子)+飲料販売 大人+子ども 300人来場(浴衣での来場者にはお菓子を贈呈など)
予算	映画放映代、機器レンタル代、駄菓子屋からの仕入れ代、飲物代
場所	東泉丘小学校のグラウンドまたは体育館

3班	
タイトル	お花見マルシェ
日程	3月末・昼・土日
目的	東泉丘にある資源・ハードの活用、多世代交流
内容	手作り市・飲食店(子どもも一緒に出店) キッチンカー 介護相談
予算	装飾・ディスプレイ(光る物)、広報
場所	東泉丘小学校

4班	
タイトル	たけっこマルシェ
日程	4月下旬 10:00~16:00
目的	多世代地域交流
内容	流しそうめん かえっこバザール 屋台(アルコールOK) カラオケ ステージ発表(ダンスなど) ゲームコーナー 物販 スタンプラリー
予算	50万円 ※各方面からの協賛金(事業所・地域団体・個人)
場所	地域の公園3か所で同時開催

● アンケート結果

《第1回》

1. あなたについて

●年齢

区分	人数	比率
～20代	0	0.0%
30代	1	5.6%
40代	8	44.4%
50代	3	16.7%
60代	3	16.7%
70代	3	16.7%
80代	0	0.0%

●今回のイベントを何で知りましたか？

区分	人数
チラシ	2
知人	16
その他	0

※「知人」には、各構成団体からの参加要請を含む。

●普段、イベント情報など何を使って知りますか？

区分	人数
インターネット	8
スマートフォンや携帯電話	11
テレビ	3
ラジオ	1
チラシ	5
新聞	2
知人や家族	9
その他	1

※複数回答

※「スマートフォンや携帯電話」に「SNS」を含む。「その他」での回答は、「市広報」。

2. 今回の「地域の大会議」について

●内容は分かりやすかったですか？

区分	人数	理由
そう思う	18	<ul style="list-style-type: none">付箋を使ったワークショップ最初は終着点が分からなかったが、参加し、意見することで何かが変われば良いなと思った。当初の参加目的や何をするのか、参加資格を含めて分からなかったが、出席して良かった。みなさんご意見が活発で、問いがシンプルだったのでやり易かった。地域の中で普段、会話が出来ない人との関わりができて良かった。皆さんが思っていることを知れて良かった。地域の繋がりができることが実現できる気がする。小規模単位でテーマに沿った内容での話し合いが面白かった。地域の方とはじめて会う人もいたので楽しかった。トピックがシンプルで難しくなかった。
どちらでもない	0	—
そう思わない	0	—

●開催日時についてどう思いましたか？

区分	人数
参加しやすい	15
参加しにくい	3

※希望する曜日・時間帯としては、「平日の昼間」「土日の昼間」でお子さんの関係が理由であった。

●開催時間についてどう思いましたか？

区分	人数
丁度良い	17
長すぎる	1
短すぎる	0

※希望する時間は、「1時間30分程度」

3. ご感想・ご意見などご自由にお聞かせください。

- ・次は、ひとつの課題でも解決したい。
- ・参加しそうな人を一人でも多く参加させたい。
- ・地域愛を育もう！
- ・様々な地域の方と関りが持て、同じように考えていたり、課題を持っているのだと知り良かった。
- ・ここでの課題を実務に落とし込んでいけたら、より有意義になるなと感じた。
- ・企画・進行が良かった。
- ・外国人の意見を聴く場がないので何えればと思う。
- ・知らない人と交流できたのが良かった。
- ・夜の開催と聞いて何故かと思っていたが、夜でないと参加できない人もいることを知り、納得できた。
- ・困りごとがあった時に相談できる関係づくりが大切だと思う。つながりのきっかけとなった。顔見知りが増えて良かった。
- ・東泉丘のために、自分たちのために、まず第一歩を踏み出そうと思う。
- ・身近な地域の方とお話できて楽しかった。
- ・他地域で活動されている方の話を聞くのも良いかと思う。
- ・ワークショップが楽しかった。これからの展開も楽しみだ。
- ・来るまでは何をするのか分からなかったので、お話を聞くだけかなと思っていたが、いろんな団体の方々と自由に意見交換ができて楽しかった。次回に繋げていけると良いなと思っている。
- ・初めての試みでしたが、活発な意見交換が楽しかった。
- ・楽しい会だった。
- ・何故、この地域なのか？

《第2回》

1. 第二回大会議の感想

- マルシェの話が聞けて良かった。
- イベントが何かできたら良いなと思いました。
- 1回目も参加いたしました。
- ワークショップでは、更に地域の活性化につながる意見が飛び交い良かったです。
- やはり、お母さんパワーがすごいので、東泉丘地区もお母さんパワーを集めてやって行きましょう。
- ふる里と思えるような東泉丘作り。
- 中学生の参加を伴うイベントづくり
- イベントを通しての交流。
- 全体に前向きな意見が多く、建設的に頑張ろうと。
- 第一回に参加して、第二回を楽しみにして参加しました。
- 北丘のマルシェの話聞き、同じようにできないですが、少しでも近づければと思います。
- 地域の事業者の方々も参加してくださって新鮮でした。
- 事業者さんが来ていただいて良かったです。
- 地域のために動いてくださる方がたくさん居る事に触れ、とても素晴らしいと感じました。
- 地域活性化、愛着を持って住める町づくりに協力できればいいなと思う。
- 非常に地域のために、色々な意見があり楽しかったし参考になりました。
- 他のグループの話を聞いたり、自グループを話していても思ったのですが、「それだったらあそこにあるよ!」「それしていたよ!」など、みなさんの知識やご経験で各々がカバーできるので良いと感じました。
- 課題である「坂」を逆に活かすのが、めちゃおもしろかったです。
- すごいステキ！（竹もやきたいほどありますし）
- 熱気があるお話を聞けて、とても勉強になりました。
- “つながり”のキッカケとなり、とてもありがたい機会でした。
- 地域の中で今まで知らない活動がされていることがわかり、自分のまわりの活動に活かせる情報が得られてよかった。
- みなさんととても積極的に声をあげておられ東泉丘の熱量を感じました。ぜひ「流しそうめん」実現したいです。
- いろいろな方とお話ができ楽しかったです。
- このつながりを大切にして地域に何か貢献できることができればと思います。
- 地域の方々の色々な声を聞いて参考になりました。
- 少しでもお役に立てればと思います。
- 地域の様々なグループにおられる方々の意見を聞いて良かったです。

2. 次回に向けてのアイデア

- いろいろな年代と交流できたら良いのですが、そんな場所が作れたら。
- 次回、どのように動いていくか、とても楽しみです。
- まとめて、少しずつ目的に向かって意見をまとめていきたい。
- ここからどうまとまっていくのでしょうか…
- 自グループで、勉強やセミナーの話もありましたが
- 「楽しい」「参加したい」というようなものが大事だねという話をしていました。
- イベントとか活動の具体的な内容を話し合う。(実際にする場合をめざして)
- ここまで出た意見を1つでも多く実現できるような具体的な話し合いができればと思います。
- 何ができるか、実行するための具体的なお話ができればうれしいです。
- 今後も、色々な方と意見交換をしたいと思います。

3. ご感想・ご意見などご自由にお聞かせください。

- やはり、音楽も活かした取組みが何かできれば。
- とても有意義な時間でした。

＜第3回＞

1. 大会議への参加回数

回数	回答数	比率 (%)
1回目	0	0.0
2回目	7	41.2
3回目	10	58.8

2. 大会議に参加して良かったですか

区分	回答数	比率 (%)
良かった	17	100.0
良くも悪くもない	0	0.0
良くなかった	0	0.0

3. 大会議に参加して気持ちや意識の変化

区分	回答数	比率 (%)
変化があった	17	100.0
変化はない	0	0.0

(理由)

- ・分館運営委員として行事には携わってきたが、更にいろんな企画、イベントの中で地域住民とのつながりを深め、喜んでもらえてもらえる手助けになればと思う。
- ・地域の将来を考えるようになった。もっともっと地域活動を活発にしたい。
- ・事業所として東泉丘の住民の熱量を感じることができ、是非協力したいと思った。
- ・元々大好きな地域で、もっと好きになったという変化がありました！
- ・地域の方の熱量を感じる事が出来た。
- ・色々な話ができて楽しかった。実現に向けて動いていきたいと思う。
- ・民生委員さん以外の地域の方と出会えることができた。
- ・沢山の志ある方と知り合えて嬉しかった。またこのような機会があれば参加したい。
- ・この様な取組みを永續させる様に、若い人達の参加をうながしたい！！
- ・もっと多くの方と色々できると思った。
- ・地域の事が少しは理解できたと思う。
- ・今まで話した事のない方々と意見交換が出来、事業所としてどの様に地域とのつながりがもてるのかを考えるようになった。
- ・きずなやつながりが叫ばれる程に分断化された社会をたて直すチャンス

4. 今後もこのような機会があれば参加したいですか

区分	回答数	比率 (%)
参加したい	17	100.0
どちらとも言えない	0	0.0
参加しない	0	0.0

5. 大会議の感想 (自由記述)

- ・地域の方と交流することが出来てよかった。次回は飲みながら……。
- ・最初は訳が解らなかったが、司会者が上手である事と、参加者の熱意を感じた。
- ・地域の方としっかり話をできた事がよかったと思う。
- ・来年度地域の為に補助金がでる(予算立てされる)なんて素敵なこと!!!
- ・素晴らしい会議だった。とても良かった。具体的な成果につなげよう。
- ・とても楽しい会議だった。企画したイベントができれば良いなと思いました。
- ・3回参加してとても楽しかった。考える機会をもらってよかった。
- ・どのグループも実現可能な案で具体的だったので、この会議で終わることなく継続していけたらと思った。
- ・他にもたくさんの人たちが(いろんなスキルのある)いらっしやると思うので、今後お会いできそうだなあと思える、そんな会議だった。会議に参加して、知らないこともたくさん知れたのでうれしかった!ありがとうございました!
- ・このような機会があって初めて考えることができたことがたくさんあった。ありがとうございました。
- ・大変良かった!・ここだけ、にしたくない!

地域の未来を考えよう！

地域の大会議

in 東泉丘
小学校区

1.25(木) 2.15(木) 3.14(木)

いずれも19:00-21:00

会場：東泉丘小学校 多目的室

東泉丘で新しいチャレンジが始まります。
自分たちの住んでいる地域をあらためて見直し、
地域の未来をみんなで一緒に考えます。
まずは、お互い知るところからはじめてみませんか？

第2回 2.15(木)
つながりから考える
新たなコミュニティ

第3回 3.14(木)
地域自治に向けて

第1回 1.25(木)
データから知る東泉丘

主催・お問い合わせ：豊中市市民協働部地域連携課
TEL：06(6866)1102 FAX：06(6863)4427
メール：community@city.toyonaka.osaka.jp